

札幌市北区北6条西7丁目 北海道自治労会館 3F
TEL 756-7790(代) FAX 756-7792

鈴木書記長

執行委員長
原田 優子

社会正義をめざす仲間と共闘・連帯の輪を広げ いまこそ労働運動の再構築を！ 札幌地域労組第五八回定期大会ひらく



活発な討議を展開した定期大会



上田札幌市長が
連帯の挨拶

十二月五日、センチュリーロイヤルホテルにて代議員・組合員多数が参加、第五八回定期大会が開催されました。大会は松岡副執行委員長長の開会あいさつの後、大会議長に平川代議員（大友恵愛園）を選出し始まりまし

た。原田委員長は、「この一年さらに雇用破壊が進み非正規が増加、格差が拡大した。更に健全な労働運動を推し進めよう」と挨拶しました。来賓の上田札幌市長より、「日本の社会はいつの間にか昨年末の派遣村のようになってしまった。頑張る一人一人が大切にされる社会を造るため、札幌地域労組の今後の奮闘に期待する。」と挨拶がありました。次に、全国ユニオンの鴨会長から、「一億総中流と云われた時代から、今は非正規・正社

員まで労働者は疲弊している。労働者の為に闘う労組が結集、登録型派遣の廃止・均等待遇を実現する為、全国ユニオンは運動の先頭に立つ共に頑張ろう。」と連帯の挨拶を受けました。続いて来年で十年になり隔月開催の労働者の権利講座でお世話になっている川村顧問弁護士より、「議案書には一年の活動がダイヤモンドのようにちりばめられ、民主的運営と、仲間を大切にしようとする気風を感じる。」と激励を頂きました。○九年度の活動経過報告は、鈴木書記長の概況説明から始まり、「めいらくグループユニオン」の組織化、賃金闘争・職場の闘い、六十歳雇用延長の闘い、労働相談活動の取り組み等の報告がありました。大島書記次長から決算報告、本間会計監査からの報告のあと、すべて承認されました。続いて、一〇年度活動方針、収支余剰金処分、一〇年度予算、来年実施の参議院議員選挙の比例区（全国）は全国ユニオンとの政策協定をふまえて、社民党党首・福島みずほ氏を推薦する提案があり、代議員より「中長期の展望にたった運営をすべき」等の多数の質疑があり活発な討議のあと、すべての議案は承認されました。閉会の挨拶のあと成功の内に第五八回定期大会を終えて、会場を移し恒例の交流会を開催しました。

スジャータでおなじみの 「めいらくグループ」で ユニオン誕生！

十一月十四日に「札幌地域労働組合めいらくグループユニオン」が結成されました。

現在、結成時の人数の三、四倍まで拡大しています。

会社には、以前から「めいらくグループ労働組合」というユニオンショップ協定で役員まで加入させている企業内労働組合があります。この組合は、典型的な御用組合（委員長が労務担当）で会社のいいなりです。一時期、世間では組合のヤミ専従問題が話題となりましたが、この会社の組合専従者は、組合から賃金をもらい会社業務を行っているのです。

このめいらくグループには様々な問題が山積しています。が、今回の結成の主たる目的は、A役員（常任執行役員なのに組合員）によるパワハラ（殴る蹴るの暴力を含む）撲滅にあります。



めいらくグループユニオン結成準備会

した。また、商品の欠品等を労働者に転嫁し賃金からの一方的な控除を強行しています。

加えて、サービスマン（タイムカード打刻後の残業）や休日出勤（自主出勤を強要）などの問題もあります。

ユニオンは会社に対し、Aによる暴力行為の実態を可視化し、撲滅を要求しました。これに対し会社は初回の団体交渉で、ユニオンに謝罪するとともに暴力行為の当事者であるAへの懲戒解雇処分を決定した旨回答してきました。

さらに、Aから強要され車両事故の修理代を労働者が自己負担させられていた問題では、その金員を返却する旨の回答もなされました。

まさしく組合結成の成果です。この結果を受け、職場内で

一定程度の民主化が図られると思われず。しかし、問題がすべて解決されたわけではありません。前述のとおり、改善課題は多々あります。ユニオンは全国に展開しているめいらくグループの仲間にも加入を呼びかけて拡大を目指しています。

職場の更なる民主化を勝ち取るべく奮闘しますので、皆さんのご支援を宜しくお願いします。

初のゲストを迎えての

労働者の権利講座

今年最後の「労働者の権利講座」は、いつも講師をお願いしている川村弁護士と共に、国労



旧国鉄での不当労働行為の実態報告

札幌地区本部闘争団の牧田智雄団長をお招きして開催されました。

初めに、川村弁護士は自ら関わってきた旧国鉄における国家的不当労働行為問題の根深さに触れ、この事件の学習が今の労働組合運動に勇気と希望を与えることを強調されました。

続いて、牧田団長は国鉄と労働組合の歴史、国鉄改革への動き、国鉄の長期債務課題、国労組合員への攻撃、労働委員会や裁判闘争などについて切々と訴えられました。

特に人材活用センターや清算事業団における国労組合員への仕打ち、マスコミによる不当な世論操作（ブラ動・ヤミ協定）、一部役員の組合脱退や裏切り行為などの場面では、参加者がうなづくなど話に引き込まれていました。

また、質問、意見もでて有意義な学習会となりました。

いよいよ10年目を迎えた

労働者の権利講座

2010年2月16日（火）

18時30分より
自治労会館 3階会議室

*内容は検討中



大会後の 熱気に包まれた交流会

十二月五日、第五八回定期大会終了後、恒例の交流会を開催しました。札幌平和運動フォーラム飯田代表幹事の乾杯に始まり、全国ユニオン鴨会長、川村俊紀弁護士、山口たか氏、本田ゆみ氏から挨拶を頂きました。総勢一二〇名の組合員が参加し、よく食べ、よく飲

み、日頃の組合運動や自分たちの職場について話を弾ませました。

テールを移動しながら他組合・支部の組合員と交流する中で新たな絆が生まれ、話をしながら組みあがった新たな運動への取組となりました。最後は、おなじみ長老の新野特別執行委員の団結カンパローで会を締めました。

キューバ映画祭「サッポロ」

とき 一月二三日～二九日
ところ 札幌東宝プラザ
(狸小路五丁目)

前売券は当組合で扱っています

当日券一五〇〇円のところ
前売券一三〇〇円
三回券三〇〇〇円。
道内初公開の素晴らしい映画をたくさん上映します。
詳細は「キューバ映画祭」サッポロ2010のHPで。

伊藤千尋さん講演会

「熱き中南米とキューバ」
かつて「米国の裏庭」と言われた中南米は、今、米国の支配を脱し地域での結束を強めています。
その先駆けとして、米国と闘い続けてきたキューバ。

度重なる危機をいかに乗り越えたのか。

とき 一月二三日(土)

十三時三〇分

ところ 札幌東宝プラザ

☆伊藤千尋さんプロファイル
朝日新聞記者/ジャーナリスト。学生時代にキューバでサトウキビ刈りのボランティアに参加。朝日新聞入社後は、中南米特派員などを経て、世界各地取材。『ゲバラの夢、熱き中南米』(シネ・フロント社)、『反米大陸』(集英社新書)など著書多数。

「キューバを彩るデザイン」

キューバ・ポスター展

十二月二六日～一月十四日
紀伊國屋書店札幌本店二階
イベントスペース
(札幌市中央区北5西5)

札幌地域労働組合 2010 新年団結パーティー

とき 2010年1月15日(金)
午後6時30分開会
ところ センチュリー
ロイヤルホテル
(中央区北5西5)

【告知板】

☆ 春闘学習交流会

日時 二月十四日(日)
十三時から

場所 翌日一二時まで
定山溪(溪流荘)

☆ NIS 不当労働行為事件
労働委員会審問

日時 二月二四日(水)
十三時三〇分

場所 道庁別館一〇階
労働委員会

☆ 札幌地域労働組臨時大会

日時 二月二四日(水)
十八時三〇分から
場所 自治労会館三階

【編集後記】

先の大戦で多くの沖縄県民が犠牲となり、戦後もアメリカの支配の下で土地を奪われ、基地のなかに囲まれての生活を強いられる、いまも米兵の犯罪に脅かされる日々を送っている。昨年には政権交代となり、沖縄の普天間基地の撤去が大きな政治的課題となっている。自民党、そして民主党の一部には県内の辺野古に移転の動きがあるが、アメリカへの従属を断じて許さず、沖縄県民の切実な声をなんとしても実現しよう。(新)